



《校訓》 明朗 剛健 創造

太田中だより

令和3年1月29日発行 厚岸町立太田中学校 第11号

弱いロボット

校長 沼田 卓二

令和3年が明けました、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今月は「弱いロボット」についてのお話です。これは豊橋技術科学大学の岡田美智男（おかだみちお）教授が「人とロボットとの共生社会の実現を目指して」研究を進めているものです。

教授は、ものづくりにおける「あれもできる」「これもできる」というような“自己完結があたりまえ”という常識を捉え直し、周りに支えてもらうようなロボットを作れないか考えたそうです。自分だけでは問題を解決できない「弱い」存在だけれども、周りとの関係性を豊かに構築することで、最後は目的を達成してしまうようなロボットのことを「弱いロボット」と名付けました。

そのひとつ「ゴミ箱ロボット」を紹介します。



〈ゴミ箱ロボット〉

自らではゴミを拾えない（筆者注：腕がない）ものの、子どもたちの手助けを上手に引き出しながら結果としてゴミを拾い集めてしまう。

画像・文：国立大学法人豊橋技術科学大学HPより

【ゴミを拾うまでの流れ】（筆者作）

1. ロボットがゆっくり歩きまわり、ゴミが落ちているのを見つけたら体を揺らしたり、「もこもこ」と声をだしたりして、周囲にアピールする。
2. その様子を見ていた周囲の人間が、ゴミを集め始めたりする。
3. 「ゴミ拾い」という目的を完結させる。



教授によると、『ゴミが落ちていることを知らせるときに「ゴミを拾って」とロボットが言ってしまうと、人間は“指示されている”“使われている”と感じますが、言葉が拙い分、聞き手側が解釈する余地が残り、“困っているのかな”と聞き手側が考えることで“放っておけない”という優しさも引き出される』というのです。

ここでのポイントは、ゴミを拾えないマイナス面を周囲の人間を味方にするところで目的を達成するところにあります。マイナスと捉えがちな「弱さ」から「強い関係性」を生むという視点です。教授は『私たちは不完結だからこそ、コミュニケーションを取って補完し合います。その際に「弱さ」を少し開示してくれると“私と同じだ”と思えて距離が縮まり、共感が生まれる』と述べています。さらに、『コロナ禍のように予測不能な状況下では、事前に準備したプランが役に立たないことがしばしばあります。そんな時、目の前に現れる状況を味方に変えていく柔軟性がある人は強い。まず一つの解決策を試して、ダメだったら次の策を素早く取

り入れるという俊敏性も大切になる』とも述べています。

ロボットと人との関係も、人と人との関係も、自分が弱さをさらけ出すことで、相手の優しさを引き出すことができる。このことは、学校づくりに通じるものがあると考えます。

結びになりますが、現在、学校では令和2年度の反省を行っています。コロナ禍の状況であるからこそ、生徒たちとはもとより、保護者や地域の方々と、お互いに不完結な部分を補い合い、支え合う中から新しい価値を創造していく好機（チャンス）ととらえて次年度の学校づくりに生かしてまいります。

明るく楽しい学校に（生徒会企画）

1月26日（火）放課後に生徒会（執行部、生活委員会）主催の生徒会企画が行われました。

生徒会執行部は、頭を使いチーム戦で行う「文字パズル並べ替えゲーム」を行いました。チーム力を活かしながらバラバラにされている文字カードから正解の言葉を導き出すゲームです。

生活委員会は、体を動かしてレクを行う「ワンバウンドバレーボール」を行いました。通常のバレーボールのルールを少し変更し、ワンバウンドOKのルールです。生徒2チームと、教職員1チームによる総当たり戦を行い、見事1年生チームが優勝しました。終始和やかに企画が進行し、「明るく」「楽しい」午後のひとときを過ごすことができました。



大津波から命を守るために

1月25日（月）に全校集会で防災教育の一環として、厚岸町危機対策室が作成した津波防災啓発動画DVD「大津波から命を守るために」を視聴しました。普段見慣れている場所が大津波に襲われる映像がリアルに描かれており、生徒、教職員は真剣な眼差しで見っていました。生徒は、「怖かった」や「急いで避難する大切さが分かった」等あらためて、いざというときの備えの大切さを学ぶことができました。

いつ発生してもおかしくないと言われている千島海溝を震源とする巨大地震ですが、太田地区は海拔80m以上の位置にあるため、津波に襲われる可能性は低いと思われませんが、私たちも日頃、湖南や湖北地区に出掛ける機会があります。

巨大地震等の災害は時と場所を選びません。いざと言うときの備えや覚悟を心に留めておく必要があります。



2月の行事予定

日	曜	学校行事
1	月	出願変更（校内締切）
2	火	定時退勤日
3	水	ALT 図書バス
4	木	委員会
5	金	学力テスト（3年模試）
6	土	
7	日	
8	月	夕会
9	火	委員会 面接練習開始
10	水	ALT 学年末テスト範囲配付（1・2年）
11	木	
12	金	小学生1日登校日 新入生体験入学・説明会
13	土	
14	日	学年別バドミントン大会
15	月	
16	火	武修館高校学力検査
17	水	ALT 図書バス
18	木	委員会 朝学習スタート
19	金	参観日・懇談会
20	土	
21	日	釧路高専学力検査
22	月	夕会
23	火	
24	水	ALT 図書バス 定時退勤日
25	木	学年末テスト（1・2年）
26	金	学年末テスト（1・2年） 学習規律反省 オーロラダンス鑑賞（1・2年）
27	土	
28	日	

3学期がスタートしました。始業式に、校長先生から3点のお話がありました。

- ①「一年の計は元旦にあり」
- ②4月の準備をすること
- ③日々の健康管理について

3年生は、高校受験に向け全力を出し切ること。2年生は最上級生として、1年生は中堅学年としての心構えをもつことが大切です。今年が素晴らしい1年となるよう1日1日を大切に過ごしていきましょう。

学校評価（2回目）の結果について

令和2年度		学校評価アンケート集計結果(2回目)			
ねらい	No.	質問項目	保護者	生徒	教職員
人間関係	意欲	1 学校に来るのが楽しい	3.1	3.3	3.3
	進路・意欲	2 将来の目標を持ち、その実現に向けて学校生活を送っている。	2.5	3.0	3.1
学力向上	授業	3 真剣に授業に取り組み、授業の内容を理解している	2.6	3.1	3.4
	家庭学習	4 宿題以外の家庭学習にも意欲的に取り組んでいる。	2.7	2.5	2.9
基本的な生活習慣	生活習慣	5 早寝・早起き・朝ごはん型の生活をしている。	2.9	3.3	3.1
	生活習慣	6 身だしなみや挨拶、言葉遣いがきちんとしている。	2.6	3.1	3.3
人間関係	道徳	7 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って行動している。	3.0	3.2	3.3
	道徳	8 自主的に考えて行動し、責任を持って生活している。	2.5	3.1	2.7
学力向上	授業改善	9 学校(先生)は、熱心でわかりやすい授業をしている	3.1	3.5	3.7
人間関係	いじめ防止	10 学校(先生)は、いじめのない学校・学級づくりに努力している	3.5	3.7	3.9
	生徒理解	11 学校(先生)は、生徒一人ひとりを大切にしてくれている。	3.4	3.7	3.9
	進路	12 学校(先生)は、進路実現に向けての指導を十分に行っている。	3.4	3.5	3.7
役割連携	保護者連携	13 学校(先生)は、保護者や地域の方々々と連携・協力している。	3.5	3.7	3.6
	保護者連携	14 学校(先生)は、学校・学級だより、先生の声などで情報を伝えている。	3.5	3.7	3.9
特設		15 単元テストを今年度の学習評価方法に加えたことは妥当であった。	3.7	3.5	3.7
		16 子どもの学びを保障するための「テレ問タイム」は妥当であった。			3.9
分掌		17 学校運営の効率化を図るために、学校全体の組織及び各分掌で、主任・部長を中心に連絡・相談・調整が適切に行われ、十分に機能している。			3.8
研修		18 教職員一人ひとりが生徒の学力向上に結びつく指導力の向上を図るための研修活動の内容を理解し、積極的に取り組んでいる。			3.7
健康安全		19 健康や安全に関する指導・取り組みを学校の教育活動全体を通じて適切に行っており、生徒に十分理解されている。			3.5
教科指導		20 学力検査などの分析結果を共通理解し、授業改善に生かしている。			3.5
特別活動		21 体験的活動に取り組ませる中で、生徒の役割分担を明確にし、主体的活動を促している。			3.3
特別支援		22 生徒一人ひとりの学校生活における困難な状況をふまえ、個に応じた対応など、授業の工夫や日常生活での支援に努めている。			3.7
特設		23 今年度の学習評価方法に単元テストを加えたことは妥当であった。			3.7

お忙しい中、今年度2回目となる学校評価アンケートへのご協力大変にありがとうございました。
 前回に引き続き、全体として高評価をいただいております。結果を全教職員で共有し数値の低い項目については改善を図ってまいります。
 保護者の皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、授業改善や生徒の支援に全力で取り組んで参ります。ご意見ご要望などありましたら、遠慮なさらずに学校までお問い合わせ下さい。

【保護者自由記述】

・テストの点数がいまいち上がらない。本人もやっても上がらないと考え始めている。

【生徒自由記述】

- ・どうやったら集中できるのか教えてほしいです。
- ・冬休み学校をあけてほしい。分からないところを聞きにいきたいから。
- ・絵を上手に描けるようになる方法を教えてほしい。
- ・絵が上手になりたい。自分で考えてオリジナルの絵を描きたい
- ・ノートに写す時間をほしい
- ・今の先生のメンバーでいいが、他の先生も道徳を担当してほしい。
- ・自主学習の例を教えてほしい。(理科)

【今後の対応について】

- No.2について
- ・キャリア教育や個別の進路指導の充実を図ります。又、生徒が学校生活の中で、自己決定する場を意図的に設定し自己有用感を高める取組を行います。
- No.3について
- ・日常の授業改善や、個々の学力を向上させる放課後学習の改善を行います。
- No.4について
- ・授業と家庭学習をリンクさせる取組を強化します。単元テストも有効に活用し家庭学習との連動を図ります。
- No.6について
- ・生徒会による挨拶運動の定期開催等の具体的な取組を行います。
- No.8について
- ・生徒への助言や支援後の見守りを継続し、自己肯定感を高める取組を行います。又、道徳の授業改善を図ります。